

令和4年度 第6回

# 日南市教育委員会

## 会議録

令和4年9月26日(月) 午後3時から  
日南市役所教育委員会庁舎1階会議室

- 1 会議の名称 令和4年度教育委員会 第6回会議（定例）
- 2 会議日時 令和4年9月26日（月）  
午後3時00分から午後4時10分まで
- 3 出欠確認
  - （1）出席委員 都甲政文 郷谷純一 別府信一、黒木由香、八木真紀子
  - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長  
学校教育課学校教育担当監  
学校教育課課長  
学校教育課管理係長  
学校教育課管理係主査
- 4 場所 日南市役所教育委員会庁舎1階会議室
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会  
【都甲教育長】  
「それでは、令和4年度第6回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認  
  
【都甲教育長】  
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」  
  
【田中部長】  
「事務局は、全員出席です。」  
  
【都甲教育長】  
「傍聴者は1名お見えになっております。よろしくをお願いします。」
- 8 活動報告
  - （1）教育長活動報告

### 【都甲教育長】

- ・ 8月25日、学校訪問で油津中学校を訪問しました。2学期始業日ではありましたが、管理職2名が新型コロナの影響で不在となっていて、さすがに管理職なしでスタートしてもらった訳にはいけないので、私が朝行かせていただいて、職員朝礼で一言2学期のお願いの話をさせていただきました。
- ・ 8月29日、小倉処平DVD寄贈がございました。小倉処平は、小村寿太郎侯の先生なんですけど、飢肥まちづくり協議会がDVDを作成しまして、市内全学校と図書館にいただきました。この人なしにはあのような歴史に残る人物にはなりえなかったという話もありまして、ぜひ小倉処平のことを市内の子ども達に知ってもらいたいとのことでありました。
- ・ 8月31日、校長会を行いました。2学期始まって1週間経った訳ですけど、まず、夏休み中に大きな事故もなく子ども達が過ごせたことにお礼を言いました。次に、8月22日に制服の発表がありまして、これから、来年に4月に向けて環境整備をして欲しいと。というのは、これから保護者等含め色々な相談があると思いますので、その時はちゃんと校長先生がしっかり対応することをお願いしました。また、2学期は色々忙しいので、「危機に強い職員、危機を発生させない組織」をつくるために、職員への声かけをする等の確認をしました。
- ・ 9月4日、日南高校エクセルシア祭文化の部がございました。弁論発表の部と合唱の部を見させていただいたんですけど、弁論の部ではさすが高校生だけあって、多様性や恋愛のことなど興味深いテーマがありました。
- ・ 9月5日、日南学園ベル・リンギングがございました。ポーツマスとの交流行事になりまして、講和条約が締結された時間（午後3時47分）に合わせて参加者全員でベルを鳴らしました。今回で2度目の参加でありましたが、友好の絆を大切にする取り組みとしてしっかり位置付けされているのかなと思いました。
- ・ 9月8日、令和4年度市町村教育長・教育委員研究協議会がございました。全国の研究協議会になるんですけど、リモートで行われました。この中で私は「地域との連携」「部活動の在り方」のグループに参加して5、6人のグループで協議しまして、それぞれの地域の実情が分かり、大変いい経験になりました。ぜひ皆さんも来年は参加していただき、学んでいただければと思います。
- ・ 9月13日、日南高校未来戦略課審査会がございました。市長とともに、日南高校2年生がテーマを決めて発表する審査会に参加しました。防災、読書、文化財関連等、興味深いテーマを選択してまして、発表にも準備万全で臨んでおりました。
- ・ 9月21日、令和4年度交通安全啓発キャラバンがございました。21日から30日までの秋の全国交通安全運動にあわせて、令和4年度の交通安全啓発キャラバン隊が回って来られ、知事の宣言書を市長に渡されました。その後、日南市の交通安全の集いが行われまして、交通安全協会より全中学校に、コンクールで最優秀をとった標語が書かれた幟をいただきました。

- ・ 9月22日、学校訪問で吾田東小学校を訪問しました。5年生のカツオ料理体験を訪問させていただきました。県の取り組みとも連携しまして、県の食育アドバイザーを務められています別府委員の奥様や漁協の皆様のご協力によりまして、子ども達も楽しそうにカツオのムニエルに挑戦していました。
- ・ 9月26日、中部教育事務所説明会がございました。令和5年4月人事異動に関する説明会が教育長を対象に実施されました。校長先生には、29日にリモートで実施されます。

## 9 前回の議事録承認

### 第5回の議事録について了承

## 10 研修

### 「特別支援教育についての現状と取組」 上村指導主事説明

#### 【別府委員】

学校相談、特別支援コーディネーターというのは、学校何校かに一人なのか、学校に一人は配置されているのですか。また、資格か何かを持っていますか。

#### 【上村主事】

特別支援コーディネーターは各校に必ず1名は設置するようになっていいますので、もちろんまずは担任との相談になりますが、そこでなかなか解決しない場合に入っていただく形になっております。資格については、特に免許持っていないとかはなく、その学校の中で一番特別支援に造詣の深い、専門性が高い方になっていただいています。

#### 【別府委員】

教育支援センターと巡回相談員がいらっしゃるんですが、その方達とはまったく別になるんですか。

#### 【上村主事】

基本的には教育上子どもに関わるという点では同じではあるんですけど、特別支援教育は障害であったりとか多動とかどう解決していくのか、どう手立てをするかを専門的に支援するもので、支援センターにいらっしゃる方たちは主に不登校だったり、学校にうまく適応できない子どもを支援する生徒指導的な関わりとなります。

#### 【別府委員】

ちょっと思ったのが、巡回相談員とか、学校にいけない理由を保護者と話して、話しているうちに、病院に行ってみたらこういう診断になったときに、巡回相談員とコーディネーターの方との話し合いがあるのかなと思って。

#### 【上村主事】

支援センターは生徒指導主事が色々と活動されてて、学校でも会議をされてて、そ

ういう情報共有はされていると思います。専門的に見て、この子はこういう指導をしてあげたら等アドバイスは間接的に行ったりとか、直接支援の場はありませんが、色々と取組はしています。

【八木委員】

色々研修会とかあると言われましたけど、職員で困り事とか悩み事とかはありますか。

【上村指導主事】

特別支援教育というのが、一人一人対応が違うのでこういうパターンをそれぞれ持ってらっしゃるというよりは、その子に対する支援相談先がわからないとか、癖はわかるんだけど、具体的にどんな支援をしていいのか悩んでいますとか話がありますので、そういう時にはエリアのコーディネーターの力を借りたりして、例えばユニバーサルデザインの使用とか、教室の前に掲示物がいっぱい貼ってあって集中できないので外してくださいといった意見をもらったりという形で支援をいただいています。

【八木委員】

先生達が勉強するような情報を流したりとか、県内でも学校とは関係のないNPO等の研修とかに参加されているとかはあるんですか。

【上村指導主事】

個別の活動をされている方もいますので、教育委員会としては全てを把握していないのですが、日南市の活動として市主催の研修と、エリアの中でも研修という形で年に2回、コーディネーターの先生と一般の先生の研修を行っていますので、3回程度、先生方のご意見を聞く機会を設けています。

【黒木委員】

学校の先生になるという視点で、こういう多様性が入ってくる世の中の流れになっていると思うんですけど、これから先生になろうという方達の中にこういうプログラムは入ってたりするんですか。

【上村指導主事】

大学のカリキュラムの組み方によるとは思うんですけど、特別支援教育というのは基本的に採用できるひとつとして入っていると思います。今年に入ってから文科省の通知で特別支援学級の担任だったりとか特別支援学級の支援員だったりとかというようなことを推進してくださいというものもありますので、人材交流含めて色々取り組んでいきたいと考えています。

【黒木委員】

全ての先生が特別支援の教育を受けて追求指導教室の担当になられたり、どの先生でもここを担当する可能性があるということですよ。特別ここだけを学んでいる先生がいっぱいということではないということですよ。

【上村指導主事】

特別支援教育の免許状もあるんです。それを持たれてる方は専門的に運用されて

いるんですけど、学校の中の先生が全て免許を持っているかというとそうではなくて、小学校の免許しか持っていない先生でも小学校の特別支援になることは行われています。

#### 【都甲教育長】

免許制度が更新しなくてよくなったじゃないですか。自分で研修をしないと、それを校長が確認するという形になるので、例えば特別支援なんかも自分で研修を受けてやっていくような時代にならないといけないし、研修センターとかでプログラム組んでますので、そういったところへ行ったりとか、もっともっと勉強したい方は通信教育などで免許をとったりとか、昔と比べて今の若い先生達は大学でかなり勉強していて結構詳しいです。そういう意味では大分理解できていると思います。おっしゃるように特別支援的な考え方がないとみんなの子どもは教えられないんですよね、例えばユニバーサルデザインとか。そういうのが大事で先生方に浸透してきているのはあります。一番いい勉強になるのは1年くらい特別支援学級の担任にするのがいいんですけど。そういう形で学校の中では先生方が前向きに取り組んでいるのは確かです。情緒障がいの子も達はその学級にずっといるんじゃないじゃなくてその教科とか受けにいきますので、その時は教科の先生が面倒見ないといけないし、そういう中で関わって勉強になるのかなと思います。

### 1 1 報告について

#### 報告 1 市議会定例会報告（9月議会）について

|         |                      |
|---------|----------------------|
| （田中部長）  | 市議会定例会報告（9月議会）について説明 |
| （都甲教育長） | これについてはよろしいでしょうか。    |

#### 報告 2 市町村教育委員と県教育委員との意見交換会について

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| （蛭原主査）  | 市町村教育委員と県教育委員との意見交換会について説明。 |
| （都甲教育長） | 久しぶりの開催となりますので、よろしくお願いします。  |

### 1 2 その他

#### （1）10月行事予定について

#### （2）市内文化財視察

- ① 日時 令和4年10月25日（火）午後1時から
- ② 集合場所 教育委員会庁舎 玄関前駐車場集合
- ③ 内容等 現在調整中

(3) 第7回 教育委員会会議（定例）

① 日時 令和4年10月25日（火） 午後3時から

② 場所 日南市役所・プレハブ会議室（北302号室）

(4) 令和4年度宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会

① 日時 令和4年10月28日（金）13時30分から17時

② 場所 宮崎市民文化ホール

(5) その他

① 台風14号（9月17日～19日）の被害状況について

13 閉会